

青山同窓会報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

敦井 榮一

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

新年のご挨拶

青山同窓会会長

敦井 榮一 (69回)

61卒



明けましておめでとうございます。

青山同窓会会員の皆様におかれましては、新春を健やかに過ごされたこととお喜び申し上げます。

コロナ禍により、昨春の卒業式や入学式は例年に比べ簡素化されて挙行されました。特別な経験をした方々にとっては、いずれ再会する際には一つの思い出になると前向きに受けとめて欲しいものです。

一時的にせよヒトの移動が制

限されました。「世界中をヒト・モノ・情報」が自由に行き来して成長を遂げてきたグローバル社会は元の姿に戻っていくのか？併せて、規模の拡大を是としてきたこれまでの価値観を今後とも続けていけるのか？人口減少が現実となってきた中で、新しい常態が人々の行動様式にどのような変化をもたらすのか？」を冷静に観察して、その変化の方向性を見定めながら柔軟に対応して経済活動を進めていかなければなりません。

同窓会会員の多くの方々がいろいろな面で会社経営に携わっているといます。企業規模の大小に関係なく、山椒は小粒でもピリリと辛いというようにピカリと輝く企業となるよう、各人がその責任を自覚して、後輩の皆さんが故郷に戻って活躍したくなる魅力のある企業にしていこう努めようではありませんか。

近年、ワーク・ライフ・バランスという言葉を目にすることが多くなりました。私が働き始めた高度成長期を思い起こすと、しみじみと今は良い時代になったと感慨深く思ったのと同時に、こうした豊かな時代を後世に引き継いでいかなければならないと改めて覚悟した次第です。

コロナ禍の影響で先行きが不透明な状況が続いていますが、過度に萎縮することなく、視線を上げて、共に一緒に頑張りましょう。本年が同窓生の皆様お一人お一人にとりまして、より良き年となりますようお祈り申し上げます。

佐藤のぶあき (74回) 66卒

参議院議員(全国比例区)

明けましておめでとうございます。思いもかけなかったコロナ禍ですが、皆様警戒しながらも元気に新年をお迎えのことと存じます。私も仕事柄、普段は毎週のように新潟をはじめ各地の様々な行事に出させて頂いていますが、昨年3月以降は可能な場合は祝電ですませる等種々な工夫して、三密を避け、コロナの収束を期しているところです。



年頭のごあいさつ

佐藤 のぶあき (74回)

66卒

なく、皆新潟にUターンしたいようです。先日、ノーベル賞学者の本庶先生にうかがったら、「ワクチンと治療薬づくりを日本がトップを切つてやりたい」と仰っていました。しかし、日本でワクチンがゆきわたるのは未だ先のようなので、感染しないようお互いに気をつけましょうね。

また、インフルエンザのはやる季節にもなつて参りました。どうか皆さん、こちらの方はワクチンの予防接種が始まっています。

ますのでしっかりと受けて頂きたいものです。難しい理論的なことは良くわかりませんが、インフルの予防注射やBCGを接種していると、新型コロナにかかりにくい、重症化しづらい、という説もあるので、やつておくにこしたことは無いものと思われまます。

昨年は、この新型コロナの影響で残念ながら東京の同窓会を開くことはできませんでした。ふるりの同窓生としてこの会報等で絆をつなぎ、今年こそはコロナを克服して、オリンピック・パラリンピックも開催できる素晴らしい1年になることを祈っております。

新春ご挨拶

衆議院議員 鷲尾 英一郎 (103回)

95卒



おかれましては、日々益々清祥の段お慶び申し上げます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

令和の新時代は新型コロナウイルスの世界的感染爆発という未曾有の事態で幕を開けました。日本においては、新型コロナウィルスの感染拡大と緊急事

青山同窓会臨時総会開催並びに新年会中止のお知らせは

最終ページ (16ページ) に掲載しています。

報告とお礼

前号でご案内をした周年事業記念品（120周年記念式典DVD、110周年記念校歌手ぬぐい、100周年記念ネクタイ）については、ご希望をいただいた全ての方にお応えすることはできませんでしたが、記念品を廃棄することなく全てお渡しすることができました。ありがとうございました。

態宣言によって、それまでの日常生活が著しく制限され新しい生活様式が求められるとともに人々の意識も大きく変化することになりました。私たちは新型コロナウイルス禍における暮らしの在り方の変化に伴い、新しい産業の在り方、新しい働き方などこれまでの想像を大きく超える変化に直面しています。

政治においては、7年8か月の長期にわたり憲政史上最長の内閣を組織した安倍晋三総理が体調悪化に伴い急遽辞任し、続いて急転直下、菅義偉内閣が組織されました。菅内閣はコロナ禍における感染爆発の防止と経済再生の両立という難題を抱えながら、本行われる予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備を続けています。菅総理肝いりの携帯電話料金の値下げや不妊治療の保険適用、社会のDXの推進あるいはGOTOキャンペーンの断行と延長については評価を頂いておりますが、新薬、ワクチン問題などいずれも予断を許さない状況です。

私事ではありますが、このたび菅内閣の外務副大臣を担うことになりました。拉致問題や農林水産物の輸出促進、外国人のビザなど、地元と関わる課題を担当しております。令和の新時代の到来とともに、菅内閣の外交の一端を担う重みを感じながら、地元新潟県の発展と次世代に豊かな社会を贈るべく職務に邁進する所存です。令和3年が青山同窓会の皆様にとって素晴らしい年になります様祈念し、新年のご挨拶といたします。

同窓会費納入についてのお願い

振込手数料ご負担につきまして、皆様からご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。第四銀行と北越銀行の合併にともない銀行名が変更になりました。支店名、口座番号等は変更ありませんが、改めて納入方法をご案内いたします。

年会費

1口 1,000円

できるだけ2口以上でお願いいたします。

納入方法

1. 郵便振替口座

00650-7-4455 青山同窓会

・郵便振替の受領証が年会費領収証となります。

2. 銀行口座

第四北越銀行 白山支店

普通 5008609 青山同窓会年会費

・お取引明細表が年会費領収証となります。

■各振込手数料は下記のとおりです。(令和3年1月現在)
(ゆうちょ銀行は5万円、第四北越銀行は3万円未満の手数料です)

- ・ゆうちょ銀行口座をお持ちの方
ネットバンキング月5回無料
ATM 回数にかかわらず100円（ATMで振込用紙を使用されますと152円となりますので、使用しないでください。）
- ・ゆうちょ銀行 ATM 152円 窓口 203円
- ・第四北越銀行 ATM 110円
- ・第四北越銀行（白山支店）窓口 220円
- ・第四北越銀行（白山支店以外）窓口 330円

■ATMでお振込みをされる方へ

- ・お名前に併せて卒回もご記入ください。卒回は数字のみを入力ください。(カイツツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。)

ご自身の卒回 ご自身のお名前

例) 全日制の方の場合 00アオヤマタロウ
通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

- ・第四北越銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。
- ・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で上記のようにご入力をお願いします。

卒回の見分け方

951-8127
新潟県新潟市中央区関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内

青山 太郎
(001234)

ここ
↓
00 0000 00000000
① ② ③

卒回は宛名シールまたは年会費振込用紙の右下12桁ナンバーの左からの3から5つ目まで「-（ハイフオン）」で仕切っている3桁になります。

- ①区分
(旧制中学 00 新制高校全日制 01 通信制 21)
- ②卒業回数
- ③個人ナンバー

がんばれ青山

～応援募金についてご案内～

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
 全国大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しました。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 00510-4-52617 がんばれ青山

第四北越銀行（銀行名が変更になりました）

本店 普通口座 5054323 がんばれ青山

ご寄付を頂戴しましたことをご報告し、篤くお礼申し上げます。

○お取引明細表が領収証となります。

○お名前に併せて卒回もご記入ください。

・第四北越銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。

・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。

・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。

（カイトソ、ネンカイ等の文字は必要ありません。）

例）全日制の方の場合 00アオヤマタロウ

通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

がんばれ青山応援募金御芳名簿

(2019年12月～2020年11月)

個人	全日制	63回	瀧澤 正元
		80回	植木 邦彦
		86回	佐々木 元
		88回	今井信一郎
		90回	坪井 俊樹

団体 青山同窓会

(敬称略)

卒業アルバム寄贈のお願い

会長 敦井 榮一

下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。

49回、50回、51回、52回、53回、54回、57回、64回、69回、71回、85回、95回、98回、99回、100回、101回

ご寄贈いただける方は、青山同窓会事務局まで連絡をお願いします。

TEL/FAX 025-266-5268

メール niigata_aoyama@yahoo.co.jp

★ 青山同窓会の書籍等のご案内 ★

新潟高校 120 周年までの歴史を編纂した書籍や校歌・応援歌を収録したCD等をご希望の同窓会員にお分けしております。事務局までご連絡ください。

『青山百二十年史』書籍(CD-ROM付き) 10,000円

『青山同窓会 百二十年名簿』 5,000円

校歌・応援歌CD 1,000円

※すべて送料込み、料金振込手数料別途

各地 青山同窓会

「今年創立10周年 総会では2年分の語らいを」

東北青山同窓会副会長 小林 正明 (86回) 78卒

新潟そして全国の青山同窓会の皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大で、様々な社会活動が大きな影響を受け、ニューノーマルという言葉とともに、生活環境も一変した1年でした。

2011年に産声を上げた「東北青山同窓会」は、新潟から同窓会会長ほか役員の方々にもご出席いただいて、毎年秋に総会を開催し、東北在住の同窓生が、在学当時の思い出話や互いの近状の交換に花を咲かせてきました。また、各界で活躍されている同窓生を招いた講演会では、その姿を頼もしく思うとともに、多くの刺激を受けてきました。

しかしながら昨年の総会については、笹川稔郎会長以下役員で協議し、当時の状況を踏まえ、断腸の思いで延期を決めました。そんな暗い雰囲気の中、会員の皆さんへの総会延期のお知らせに合わせ、数名の近況報告を一緒にお送りしたいと笹川会

また、昨年は、感染防止対策や観光推進などで新潟と東北の連携した取り組みが幾つかこちらでも話題となり、何となく近くて遠い新潟と東北の距離感が少し縮まったことを個人的に嬉しく思っています。

年が改まった今、コロナ禍が

青山同窓会通信制恩師を囲む会 延期のお知らせ

令和2年度開催予定でしたが、感染症対応として来年度に延期します。

現時点での予定は以下の通りです。

日時：令和3年6月20日（日）12時～

会場：新潟東映ホテル 新潟市中央区弁天2-1-6 TEL 025-244-7101

会費：6,000円

問い合わせ：中村 090-4076-8987 笹川 090-6272-7939 岡田 080-5450-5493

早期に収束し、今年は創立10周年を祝う総会が無事に、そして盛大に開催され、同窓生が2年分の思いを存分に語り合うことができることを心から願って止みません。

同窓生訪問

りゅうとぴあ専属オルガニスト
石丸由佳さん(111回) '03卒を訪ねて小山 佳子 (88回) '80卒
中村 優美 (通46回) '04卒

秋空の10月初旬、今年度からりゅうとぴあ専属オルガニストに就任された石丸由佳さんを訪ねました。

オルガンとの出会い、学生時代パイプオルガンとの出会いは吹奏楽部員だった中学2年。授業で演奏を聞き一人吹奏楽部のようだと感じたそうです。りゅうとぴあ完成時、中学生による水辺の音楽会に部として参加、体験プログラムにも応募し初めてオルガンを演奏します。指導担当の先生に見込まれ、高1から電子オルガンのレッスンと音楽理論ソルフェージュの勉強を開始。りゅうとぴあオルガン研修講座第1期生も経験し、東京藝術大学オルガン科に合格



新潟の環境と違い藝大では様々なパイプオルガンを弾けて楽しかったそうです。「海外ではオルガニストは鍵束を持って、人のいない夜中や朝方の教会で練習するんです。留学生が大学以外で練習するのは大変でした」昨夏、講師でもある武蔵野音楽大学近くに念願のオルガンスタジオが完成。「練習環境の厳しさを少しでも緩和できれば。楽器は譲り受け、移設防音工事はクラウドファン

ディングで支援いただいて。オルガン人口が増えて、お子さんが習い事でやれたりしたら素敵ですね」

これからの活動

バブル期にパイプオルガンを入れたホールが沢山建てられ、後に楽器を手放す自治体もある中、新潟は丁寧な管理されているそうです。「西欧の教会の楽器だけど、礼拝音楽だけで観客の方がまた来てくれるかどうか。和楽器やロック、プロジェクトショーマッピングなど他領域とのコラボや、映画やゲーム音楽の演奏。吹奏楽経験や編曲技術も持つ石丸さんの発想は、オルガンの新しい魅力に溢れています。「ステージや照明、人の声も届くホールで、日本でしかできないことに挑戦中です」

在校生へのメッセージ

「学業優先の時期でも、好きな事や得意だと思える事を諦めず、常にアンテナを張ってストックしておいてほしい。直接進学や職業に結び付かない小さな事でも、大切にしたい。大好きなオルガンの魅力を広めたいという思いが、華々しい活躍や挑戦に繋がっているのだと感じました。」

石丸さんの益々のご活躍をお祈りし、演奏会にもぜひ足を運びたいと思います。(中村記)

OB会報告

青山水友会活動報告

山際 和明 (83回) '75卒

6月上旬に激励会で新入生や2、3年生を励まし、8月上旬の関川村合宿最終日に現役部員とのハンデキャップ付き対抗リレー、BBQ、交流会を行うことが水友会の年中行事である。今年度は授業はもちろん部活動も大きく制限され、青陵祭も中止になった。関川村合宿は3年生にとつて部活動の総まとめとなり、自分の将来に向けて気持ちを新たにする場でもある。水友会ではGOTOキャンペーンに引っ掛けて、自分の将来に向かう3年生、部活動を牽引する2年生、高校



生活をスタートさせた1年生それぞれ、GOTOを励ます会を7月26日に関川村で開催した。前日に水友会OBはフェイスシールドを着用して段取りを確認し、当日は体温測定後に準備を開始した。越後下関駅で部員を迎え、平田会長(63回)の世話により1910年開院の旧齋藤医院(一般非公開)を最初に見学した。その後、渡邊邸を見学し、関川村合宿があれば部員たちが行うであろう「肝試し」の場所を体験した。

昼は合宿の定宿「寿荘」の庭でBBQを振る舞った。無終端水路流しソーメン、焼きそば、焼肉、女川ソーセージなどがそれぞれ胃袋に収まった。ガ

トシエフ高井さん(104回)からの差し入れ「もちもちシュー」で食事を終えた。

交流会では、平田会長、横瀬副会長(66回)、沖野(80回)、中戸(83回)、山際、松本(84回)、長谷川(84回)、津野(85回)、塩田(85回)が思い出話を添えて部員を励ました。新部長の挨拶の後、3年生の将来に向けての意思表明があった。小声でも話せるようにマイク・スピーカーを準備したことが例年と異なるが、いつものように各部員のひたむきに触れて我々OBも元気を分けて貰った。部員それぞれのGOTOを後押しできた嬉しい。当日、昼には雨が上がり快適であった。コロナ禍の雨が早く上がり、生徒たちが高校生生活を満喫できることを切に願う。

青山野球倶楽部活動報告

小沢 謙一 (93回) '85卒

青山野球倶楽部は現役諸君の側面支援とOB間の親睦を深めることを目的に活動を進めています。

令和2年の活動は、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、大幅に縮小を余儀なくされました。3月は、既に学校行事が中止になったことに伴い、新入会員15名と部長・顧問・監督を招い



チを受け、自主練習中に磨きかけた打撃を披露していました。

激励会には高橋昇会長(73回卒)、鈴木正博副会長(76回卒)、大塚忠雄幹事長(77回卒)、吉井浩幹事(85回卒)、佐藤雄一郎幹事(90回卒)、小沢謙一事務局長(93回卒)に加え、令和元年3月卒業の竹石寛、木村竜展、渡辺聖也(各127回卒)の合計9名が参加しました。

ての新入会員歓迎会の開催を見送り、3月24日に総会のみをOB10名の参加で開催しました。4月には新入部員15名が入部して将来に向けて明るい話題もありましたが、その後、春の県予選が中止となりました。5月後半から感染拡大がひと段落したこともあり、3年生の最後を飾る夏の甲子園大会だけは何とか開催をとの祈りも通じず、残念ながら中止が決定するなど、厳しい環境におかれた現役諸君をどのように支援するか模索していました。

幸い、代替大会の開催が決定したことを受け、恒例の現役激励会を7月8日に開催しました。豪雨の影響でグラウンドでの開催が危ぶまれましたが、昼前から晴れ、バッティング練習を見学できました。元プロ野球選手の広野功氏から5か月振りにコー

青山レスリングOB会活動報告

遠藤 新一(81回) 73卒

例年であれば3月にOB会を開き、近況の報告や高校の状況などを肴にして昔話で盛り上がるのが常でありました。昨年も春先に幹事会を開き、開催の準備を進めておりましたが新型コロナウイルスの感染防止の観点から断念せざるを得ませんでした。

自身が新潟地震の被災により大会出場に苦労したことに触れ、困難な中にも全力で立ち向かうよう激励しました。広野コーチからは「一度教えた原理原則を忘れずに実践できている」とお褒めの言葉と激励を頂きました。その後、金属バット5本と激励金を贈呈し、主将の決意表明後、全員で丈夫を合唱し大会での活躍を祈念してお開きとなりました。

代替大会では宿敵日本文理に四回戦で2対5で惜敗したもののベスト16の成績を残しました。

また、例年お盆の頃に開催していた新潟県商業高校OB大会並びに新潟商業高校OBとの青山・葦原定期戦は、新型コロナウイルスの影響により、早々に中止が決定しました。令和3年は例年通りの活動が出来ることを念願しています。

青山墨友会 展覧会記

小黒 誉博(120回) 12卒

を得ませんでした。何もかも規制しては経済が疲弊しそれぞれの生活も立ちいなくなり

令和2年10月1日〜3日、白山公園内燕喜館において、「かなの書 やすらぎの小品展」が開催されました。今回は新潟高校に所縁のある書道家3名による作品の展示となりました。

樋口志保先生は、平成2年か



ますが、命を天秤にかけてまでチャレンジするものでもなく、治療薬が出来ない限りは昔のような普段通りの生活は難しいものと考えています。全世界で治療薬の開発に注力していますので会報が出るころ

ら9年間、新潟高校の講師を務められ、現在は新潟県書道協会理事長として、新潟の書道界を牽引し、かな書道をはじめとした書道文化を普及させるべく活動していらっしゃいます。小川和恵先生(101回)は、在学中樋口志保先生に学び、平成12年から12年間、新潟高校の講師を務められ、現在新潟市内でかな教室を主宰されているほか、青山墨友会の中心となつて、日々精力的に活動されています。

伊豆名皓美さん(114回)は、学芸員として勤務する傍ら、書道家として活動されており、新潟日報の読者投稿欄「窓」の題字を書かれるなど、活躍の場を広げておられます。会場は、3間続きの和

には新薬が出来て、OB会や飲み会、懇親会の段取りを何の気兼ねもなく計画出来るようになっていたことを願ってやみません。そうしたら前年の分も含めて倍返しで楽しみたいと思っています。

室で、1室ごとに1名の展示で構成され、古今和歌集などの古筆に範をとった、はがきの大きさほどの小品が中心となっていました。が、扇子やシェードランプに書かれた作品もあり、見る者を飽きさせない工夫を凝らした展示がなされていました。燕喜館という歴史ある建物と、かな書が素晴らしく調和し、印象に残る展覧会となりました。

今展覧会は、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大に際し、「生活様式」に配慮しながらの開催となりましたが、期間中は女性を中心とする幅広い年代の方々にご来場いただいたと聞き及んでいます。人々の生活様式が大きく変化せざるを得ない現状の中、働き方や暮らし方の変化などによる余暇時間の増加から、かな書を初めとする書道や、文字を手で書くことに対する見直しがされつつあるように感じられました。

令和2年度 青山競技部OB・OG会活動報告

会長 河合慎次郎 (86回) **78卒**



新型コロナウイルス感染拡大が始まった令和2年度は、陸上部の現役諸君にとって大変な年になりました。目指すインターハイやそれに向けた各種大会もすべて中止となり、特に3年生は高校最後の晴れ舞台を踏むことができないまま卒業ということになりました。

こういう時こそ青山競技部OB・OG会は、微力ながら現役諸君の力になりたいと思い、OB・OG諸氏から寄せられた応援メッセージの「エール」を皆さんにお渡ししました。

6月に、顧問である小関先生、武田先生を中心に校内記録会が開催され、小黒志津江さん(84回)からお寄せ頂いた「エール」が、その感動を伝えていきますのでご紹介します。

「先日、市陸(新潟市陸上競技場)で新潟高校陸上部の競技

会をやっている姿を拝見しました。生徒はユニフォーム、先生方も審判の服装、スタンドには保護者の応援、バックスタンドに「丈夫魂」の横断幕を…本

気度が伝わってきまして。そこで勝ったって、そこで記録を出したって、どこにつながるわけでもないのに真剣に競

た。我が陸上部のOGで、女子800mで東京オリンピックを目指すべき医師、広田有紀選手(122回)も10月の新潟市で開催された日本選手権に出場す

た。そこで勝ったって、そこで記録を出したって、どこにつながるわけでもないのに真剣に競

青山バドミントンクラブ 活動報告

小杉 信広 (92回) **84卒**

青山バドミントンクラブは、新潟高校バドミントン部OB・OGを会員とし、活動内容は新潟高校バドミントン部現役生への支援やOB会行事を行っています。

OB会行事については、例年、総会(7月頃)、現役生および顧問の先生との交流会(9〜10月頃)、年末の集い(12月)を行っており、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、すべての行事が中止になってしまいました。しかし、このような状況下においても現役生への

支援(練習相手、シャトルの提供等)は継続して実施しました。OB会行事がすべて中止になったため、新潟高校バドミントン部の現在の状況についてお知らせします。

新新潟高校バドミントン部は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年2月後半から活動休止を余儀なくされましたが、6月からは感染予防対策を講じながら活動を再開しました。しかし、この間、春季地区大会と県総体は中止となり、それまで

るなど頑張っています。青山競技部としては、コロナ禍の中で頑張っている広田選手にも激励金と「エール」をお渡ししました。(写真)

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

令和2年度は、恒例となった夏の総会も中止となりました。しかし、OB・OGの皆様から心のこもった「エール」に加え、例年以上の会費をお寄せいただき、現役諸君や広田選手への激励を力強く行うことができました。OB・OGの皆様の後輩を思う熱い気持ちに感謝した次第です。

人のふれあいが社会のエネルギー 青山バスケットボールクラブ

和澄 孝男 (83回) **75卒**

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

新型コロナウイルス蔓延は、突然、世の中を緊張の渦に巻き込み世界を一変させた。毎年2月に開催していた当クラブ主催のバスケットボール大会も中止を余儀なくされたのである。学校は閉鎖され、クラブ活動も禁止された。まさに、社会全体が未曾有の状況に突入したのである。

すでに、「時代は、アナログからデジタルへ」と叫ばれて久しい。しかし、新型コロナウイルスの急襲は、その両者の価値をあらたに思っている。人の動きが止まるとこれほどまでに経済活動への影響が大きいとは、予想を遥かに超えた。否、想像すらしていなかったという方が正直なところである。芸能もスポーツも、交通や旅行も街角の居酒屋に至るまで人の楽しみが制限された。企業活動はリモートがそ

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。

令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。



令和2年1月、新潟は例年になく雪のない正月を迎えた。当クラブの新年会がいつもの会場で開催された。現役生徒とOB会メンバーが集う合同新年会である。現役生徒の自己紹介の狭間にOB連中の激励のヤジが飛び、生徒の表情は、緊張とはにかみの混濁したそれである。いつもの和やかな光景だ。



一 コロナ禍による行事の中止
世界200か国で行われている柔道。コロナ禍でオリンピックの開催が1年延期となる中、4月以降、柔道競技においても多くの大会・行事が中止または延期となった。

二 柔道部125周年とOBの活躍
明治28(1895)年頃、初めて母校で「柔の形」が演じられたという(會津八一談)。これを嚆矢とすると、青山柔道部は創設125周年を迎える。戦時中には全国制覇を成し遂げた輝かしい歴史がある。

他方、昨年度には著作物でもOBの活躍がみられ、次の2冊が上梓された。
1冊は、日仏の国際柔道

令和2年度青山柔道部OB会報告

幹事長 福田 仁史 (95回) 87卒

の中心手段となり、外部営業から社内業務までのすべてが人との接触を極力避ける形へと変化した。つくづく思うことがある。やはり人は、そのふれあいの中でいろいろなものを生み出しているのだと。SNSやネット社会は、これからも人に豊かさを与えてくれるであろう。しかし、

生の人間同士のふれあいには、それに勝るものがあつたのだと。どのような時代になろうとも、友や先輩後輩、そして社会との係わりに「ふれあい(アナログ)」は大切なことなのだ。もちろん、そこに旨い肴と美味しい酒が欠かせられないことは言うまでもない。

交流に功績のあつた福田満氏(58回・故人)による柔道談義「オリンピック それフランスから始まった」(渡辺出版)。もう1冊は、格闘技史研究者の磯部晃人氏(87回)による『蘇れ!柔道最強説』(BABジャパン出版局)である。

このBSN大会の挨拶において、新潟県柔道連盟会長を務める立川克雄OB会名誉会長(72回)が「コロナ禍で十分な活躍ができなかったかもしれないが、君たちの努力は決して忘れない」と参加選手全員にエールを送る中、同会場では母校応援に駆け付けた栗林仁OB会長(83回)から吉田監督へ激励金が贈呈された。

OB会員からは、今年こそ是非再会したいとのメールが続々と届いている。

きれいになったね」とテレビに向かって言っています。新潟のコロナ対策は、全国に先駆けてドライブスルー方式のPCR検査を導入するなど先進的で、彼女が導入を主導したかどうかは知りませんが、こちらも勝手に得意げな気分になっています。

この原稿を書いている11月の時点でコロナの第三波襲来とテレビで言っています。濃厚接触者も増え続けており、彼女は更に忙しくなっていくでしょう。もうすぐ定年というところで、大変な部署に異動しました。(異動はコロナの流行する前年4月でしたが)是非新潟市民の安全を守るため頑張ってください。改めてエールを贈ります。

フェンシング部OB野島晶子さんにエールを贈る

石原 基規 (88回) 80卒

三 現役選手の頑張りど激励
母校柔道部では、昨年度3月に4名が卒業後、今年度の在籍者は3年生女子1名、1年生女子1名である。OGでもある吉田理矢子監督(110回)の指導の成果で、1年生の村松美直選手

東京在住のE子さんが新潟在住のA子さんに言いました「ねえ、A子。しょーちゃんに似ている人がテレビに出てるよ。」A子さんが答えました。「うーん、それはね、しょーちゃん本人なんだよ。」何ともほのぼのとした会話でしょうか?

全国放送でコロナの女王と言え、白鳳大学の岡田晴恵先生ですが、新潟市でコロナの女神と言え、正にこの「しょーちゃん」

私の家は江戸時代、新潟湊で廻船問屋「当銀屋」を営んでいた。廻船問屋は湊において、遠隔地からやってきた諸国の廻船と町の商人との間の商売を取り次ぐことが主な業務である。新潟湊では株仲間によつて40軒ほどが営業しており、その中でも当銀屋は津軽屋とともに営業規模の大きな店として知られていた。

我が家には江戸時代から明治

特別寄稿

旧蔵の古文書を蘇らせ、江戸時代の湊町新潟の商業を知る

江口 直禎 (56回) 48卒

時代にかけての当銀屋関係の史料が1500点ほど残されていた。40年ほど前に新潟市の市史編さん室からの要望があり、若干でも役立つなら史料提供し、最終的に新潟市へ寄付をした。新潟市史の刊行後はこの史料もあまり活用されることなかったように思うが、近年横木剛君(104回・96卒)がその内容に興味をもち、あらためて詳細な分析を行った。そして彼はそ



の内容をもとに博士論文を執筆し、昨秋新潟大学大学院現代社会文化研究科を修了された。彼は十代の頃に家族の事情によりロシアやドイツで過ごした経歴を持ち、その後醸造関係の仕事に従事していたという。三十代の頃より郷土の文化や歴史の研究に傾倒するようになり社会人として大学院に進んだ。

論文は「近世・近代期の地方湊町における商人資本―廻船

定年を迎えて

鈴木

美正（通16回）

74卒

私は65歳になったらのんびりしようと考え、ほぼ希望通りに

退職しました。2月位は自由を謳歌しても徐々に暇を持て余し、

問屋にみるその源泉と展開」という題目で、江戸時代から大正時代までそれぞれの時期に新潟で活躍した商人（当銀屋江口家・前田松太郎家・齋藤喜十郎家）を取り上げ、各々の経営や商業の実態を詳らかにするとともに、その社会的な位置付けを論ずるものとなっている。当銀屋については、限られた史料の中から財務諸表や取引内容を復元し、創業からどのような経営手法で発展し、困難を乗り越えてきたのかを明らかにされた。

この度の彼の成果により、200年前の古文書が歴史的材料として息を吹き返したことは私にとってビッグニュースであり、湊町として栄えてきた新潟市の歴史を知る上で、今後の基礎となる文献として残ったことを嬉しく思う。

なお、この論文は新潟大学学術リポジトリ (<https://nigata-u.repo.nii.ac.jp>) に公開されている。

（写真は右が江口直禎、左が横木剛）

日々の晩酌も何故か肩身の狭い気分になりました。これはいかん、堂々と晩酌するにはやはり仕事をせねば。残業なし、土日と冬は休み、適度な負荷の仕事、と我儘一杯でハローワークを訪ねると好条件のゴルフ場があり、面接翌日から勤務を始めました。

先輩達は各省庁や銀行等驚きの前職で、自他共に認めるゴルフ狂ばかり。先輩に習い私もゴルフを始め、仕事が早く終わるとコースに出る日々です。付き合程度の心得はと謙遜して言える日を夢見て。

通信制在学中、忘れられない思い出が二つあります。

一つは、同乗の友人をしくし、私は頭と顔に大怪我をした交通事故。人前に出られず引き籠りになった時、同級生や先輩が私を学校に連れ出し授業の挽回にも手を貸してくれました。その助けのおかげで今があるのだと、感謝の気持ちが年齢と共に強くなっています。

もう一つは、職場の先輩でもあったY氏と学校まで歩いた日のこと。

東三条駅前から国道8号を関屋下川原町へ約45km。少々遠いが大した事はなからう程度の気分が、強風に傘も壊れ、雨霞ま降りずぶぬれに。交わすのは

大丈夫か、頑張ろう、の二言位。膝は固まりY氏は足底に水疱まで作り、6時間かけ何とか学校に到着。先生や同泊の仲間にも頼られつつ宿泊棟の煎餅布団で眠りました。翌日は階段の辛さの記憶のみで、授業中脳は休んでいたようです。

Y氏は福祉を志し、働いて学費をため進学、役所で定年まで勤められました。私の人生の師の一人です。

苦勞は沢山しましたが、振り返れば良い人達に出会え、沢山の教養を受けた良い人生でした。今後は私がその恩を誰かに返さねばと思います。私の人生に力を与えてくださった先生、先輩、同級生達に深く感謝を申し上げ、いつか又出会えることを夢見て頑張つてまいります。



母 校 は 今 <令和2年度新潟高等学校部活動大会等結果報告>

陸上競技

【県選抜大会】

男子：800M 8位 高橋 慶
1500M 8位 高橋 慶
走高跳 5位 水澤 弘登
三段跳 8位 小林 嵩良
女子：400MH 1位 藤ノ木結奈（北信越新人進出）
4×100MR 8位 矢澤 美空・長谷川彩乃・藤ノ木結奈・中村 優希
三段跳 1位 近藤 和佳（北信越新人進出）

【北信越新人大会】

女子：400MH 1位 藤ノ木結奈

【県高等学校駅伝競走大会】

女子：8位 桑島 一紗・横山 陽菜・矢澤 美空・長谷川彩乃・西山愛唯実

水泳

【新潟県高等学校体育大会水泳競技大会】

女子100m平泳ぎ 第3位 寺本 香央
女子200m平泳ぎ 第4位 寺本 香央

バレーボール

【全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会】

男子：ベスト16
1回戦 新潟2（25-17 25-19）0六日町
2回戦 新潟0（17-25 19-25）2北越

バスケットボール

【全国バスケットボール選手権大会1次予選】

男子：1回戦 新潟93-62見附 2回戦 新潟58-57新潟明訓

女子：1回戦 新潟52-68北越

【全国バスケットボール選手権大会2次予選】

男子：1回戦 新潟35-132北越

ソフトテニス

【新潟県高等学校体育大会ソフトテニス競技会】

男子：予選リーグ勝ち抜け
武石 歩望・小田 雅生 0-4 万代
大沼 巧・田中 颯 1-4 新潟工
出場 南部 大和・大泉 一晃 高橋 遼・小田 凌大
遠藤 秀威・三浦 知也
福井 跳琉・長谷川莉玖 齋藤 大輝・弦巻 健太
女子：出場 上脇真乃香・小野塚 洵 平原 桜子・齋藤 花

【県新人選抜大会】

大沼 巧・田中 颯 1回戦 新潟4-2新発田中央
2回戦 新潟1-4北越

【高校選抜1次予選大会】

男子：団体戦 1回戦 新潟2-1燕中等
2回戦 新潟0-3新潟工業
女子：団体戦 1回戦 新潟1-2新潟西

卓球

【県選抜大会】

<シングルス>

女子：桃井胡都菜（北信越選抜卓球大会 代表権獲得）

サッカー

【全国高校サッカー選手権新潟県大会】

2回戦 新潟1-0新潟県央工業 3回戦 新潟1-4開志国際

ラグビー

【全国高校ラグビーフットボール新潟県大会】

1回戦 新潟62-0合同B 2回戦 新潟0-90新潟工業

【NHK杯新潟県高等学校ラグビーフットボール大会】

1回戦 新潟24-15合同下越 2回戦 新潟0-41新発田南

柔道	【BSN高等学校柔道選手権大会】 女子：個人戦 52kg級 1位 村松 美直	空手道	【全国高等学校空手道選抜大会新潟県予選会】 女子：団体形 3位 加藤麻衣子・高木 香帆・西川 楓子（北信越大会出場） 団体組手 3位 加藤麻衣子・高木 香帆・西川 楓子・根津 恵莉・帆苺 彩花（北信越大会出場） 個人組手 -53kg級 3位 根津 恵莉
剣道	【新潟県高等学校体育大会剣道競技会】 男子団体 3回戦進出 女子団体 3位	野球	【新潟県高等学校夏季野球大会】 2回戦 新潟11-6佐渡（延長10回タイブレーク） 3回戦 新潟9-4新潟青陵 4回戦 新潟2-5日本文理 県ベスト16
テニス	【全国選抜高校テニス大会新潟県大会】 男子：団体 2位 北信越大会出場 【新潟県高等学校テニス選手権大会】 男子：シングルス ベスト16 今井朱杜 ベスト16 高澤拓望 ダブルス ベスト16 今井朱杜・高澤拓望 女子：ダブルス ベスト16 水澤 愛佳・五十嵐 晶 出場 石山 沙季・高見 京子	弓道	【新潟県高等学校弓道大会】 団体女子の部 第2位
フェンシング	【新潟県秋季フェンシング大会】 男子：団体フルレー 2位 団体エペ 2位 団体サーブル 2位 個人フルレー 4位 山田 耕平 個人エペ 4位 飯濱靖一郎 6位 大日方陽斗 個人サーブル 2位 山田 耕平 3位 井上 弥憲 4位 小池 龍人 女子：団体フルレー 優勝 団体エペ 優勝 団体サーブル 優勝 女子個人フルレー 1位 小俣 咲綾 2位 渡辺 真由 3位 森平 晴風 4位 長谷川心優 5位 伊藤 美穂 6位 本間 美咲 女子個人エペ 1位 本間 美咲 2位 渡辺 真由 3位 阿部 千尋 4位 伊藤 美穂 5位 小杉 笑瑠 女子個人サーブル 1位 小俣 咲綾 2位 渡辺 美智 3位 伊藤 詩織 4位 大塚ひびき 5位 大河内砂知 6位 長谷川心優	放送	【新潟県高等学校放送コンテスト】 アナウンス部門5位 大野いちこ アナウンス部門奨励賞 瀧澤 帆南 創作ラジオドラマ部門1位 「ヒストリー・パニック！」 創作ラジオドラマ部門3位 「泡雪（あわゆき）」 創作テレビドラマ部門1位 「茜色透く教室（あかねいろすくきょうしつ）」 【全国高等学校総合文化祭（WEBSOUBUN）放送部門】 オーディオビジュアル部門文化連盟賞 「しあわせたまご」 【新潟県高等学校総合文化祭放送部門】 アナウンス部門奨励賞 大野いちこ アナウンス部門奨励賞 瀧澤 帆南 ラジオ番組部門1位 「春をつなぐ」 テレビ番組部門奨励賞 「ふるさとものしるべ」
ボート	【新潟県高等学校秋季ボート競技大会】 男子：シングルスカル 1位 岩崎 亘平（中部選抜出場） ダブルスカル 2位 伊藤 力・五十嵐 敬（中部選抜出場） 4位 太田 悠仁・高橋 尚久 舵手付きクォドルブル 2位 佐藤 匠・古澤 勇海・川口光太郎・石垣 敦也・志田 遥望（中部選抜出場） 舵手付きクォドルブル 3位 夏目 輝玄・米山 航太・三浦杏志朗・山本麟太郎・杉浦 広大 女子：シングルスカル 3位 金谷 りさ ダブルスカル 1位 星野 悠月・山宮 明帆（中部選抜出場） 4位 前田 紗椰・新井田美花 5位 菊部 詩織・北川ほの夏 舵手付きクォドルブル 1位 浅野 美幸・阿部紗也加・小林 佳奈・齋藤 知優・大滝 理子（中部選抜出場） 2位 相川 茉優・高岡 千咲・八木沼さち・武藤 麻凜・坪川 結実（中部選抜出場） 【中部高校選抜競漕大会 北信越ブロック大会】 男子：シングルスカル 8位 岩崎 亘平 ダブルスカル 10位 伊藤 力・五十嵐 敬 舵手付きクォドルブル 9位 佐藤 匠・古澤 勇海・川口光太郎・石垣 敦也・志田 遥望 女子：ダブルスカル 7位 星野 悠月・山宮 明帆 舵手付きクォドルブル 6位 浅野 美幸・阿部紗也加・小林 佳奈・齋藤 知優・大滝 理子 舵手付きクォドルブル 8位 相川 茉優・高岡 千咲・八木沼さち・武藤 麻凜・坪川 結実	写真	【新潟県高等学校総合文化祭 写真専門部展】 個人部門 優秀賞 駒澤 光咲 奨励賞 長谷川美由・村上ひなた・森田 彩 【同志社女子大学「SEITOフォトコン2020」】 優秀賞 関口 心彩 【新潟県写真サロン 第3部 自由作 高校生以下の部】 入選 岡崎友里亜・大島はるか・一場 恒希・助川 杏音・森田 彩
		吹奏楽	【新潟県アンサンブルコンテスト】 木管8重奏 金賞（代表選考会出場） 打楽器3重奏 金賞
		演劇	【新潟県高等学校総合文化祭演劇部門】 脚本賞 細道 望花
		囲碁	【新潟県高等学校秋季囲碁段位級別認定大会】 Aブロック 1位 尾山翔之介 2位 五十嵐利果 3位 武田 太良 Bブロック 1位 坂井 陽花 3位 岩崎 夢叶 【新潟県高等学校総合文化祭囲碁部門】 男子団体戦 1位 尾山翔之介・武田 太良・木下 輝紀（北信越大会出場） 女子団体戦 1位 五十嵐利果・加嶋 柚葉・坂井 陽花（北信越大会出場） 男子個人戦 2位 尾山翔之介（北信越大会出場） 3位 木下 輝紀（北信越大会出場） 女子個人戦 1位 五十嵐利果（北信越大会出場） 2位 加嶋 柚葉（北信越大会出場） 3位 坂井 陽花（北信越大会出場）
		将棋	【新潟県高等学校総合文化祭将棋部門】 女子個人戦 2位 高橋美彩音（全国大会出場）
		物理	【全国高等学校社会イノベーション選手権大会】 1次予選出場

教育実習を振り返って

教育実習生 佐藤 健介（124回）

16卒

私は数学教員として2週間実習を行いました。現場経験が全くない私は、指導教諭の丸山先生をはじめとするとても多くの先生にお世話になりました。また、私が数学1の授業を担当した1年5組は元気があり反応の良い生徒が多く、生徒のテンションにも助けられた2週間でした。自分が理解していることと人に教えることが全く別のものがあることはわかっていましたが、人に教えることと授業を行うことも全く別のものであることも実習を経て分かりました。マンツーマンでなら相手は何を理解できずにいるか分かってても、40人を一斉に相手をする、所々ピンときていない表情をしている生徒がいても、その生徒たちが主にどこで躓いているかが分かりません。一人一人がどこで躓いているかを正確に把握することはできず、また、一律で何を確認すれば生徒の理解に繋がりました。

まだまだ一人前には程遠いですが、この2週間で教員として多くのことを学び、成長できました。ひとえに、私を指導してくださった教職員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

教育実習を振り返って

教育実習生 佐藤 玲奈（125回）

17卒

私は、英語科の教育実習生として2週間の教育実習をさせていただきました。私は1年生の授業を担当させ

ていただきましたが、授業を作り、そして実践するのはとても難しく、日々学びの連続でした。

指導教諭の荒木先生には、実習がより充実したものになるようにと、実習内容についてたくさん考えてくださり、感謝してもしきれません。そして荒木先生をはじめ、多くの先生方のおかげで、私の学びはさらに深まり、実践力や教育観についてもさらに学ぶことができたと感じています。

授業を計画し実施するにあたり、私が大切だと感じたことは、全ての指導に意味を持たせるということです。指示を出す場合、どのような意図で英語と日本語を使い分けるのか、授業を通して生徒に身につけさせたい力と内容は合っているかなど、多くの重要な視点を学ばせていただきました。また、生徒に内容を深く理解させる発問づくり、活動づくりが大変勉強になりました。何をどの程度理解させたいかということ、教科書の本文を踏まえ、多様な視点から考えることは難しく、自分の未熟さを痛感しました。

今回、充実した実習ができたのは、指導教諭の先生、校長先生をはじめとする教職員の皆様のご指導、そして生徒の皆さんのおかげです。皆様に感謝いたします。

します。お忙しいところ教育実習生を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響による母校の状況について（その後）

2週間の短い夏休みを経て8月24日から授業が再開されました。生徒は毎朝検温をし、それを登校前にメールで報告する生活が続いています。授業はマスク着用、音楽の授業はしばらく合唱ができない期間がありました。

学年集会や講演会で使った視聴覚ホールが、密閉空間での密集状態になるという点で使用できなくなり、第1アリーナで生徒間の距離を空けながら集会を行っていました。プロジェクターの機材をその都度、視聴覚ホールから運び、サークュレーターも回し感染予防に配慮して行ってきましたが、3学年全員がアリーナに集まる全校集会はまだ感染リスクが高いため、原則として各教室で放送を聞く形で行われています。10月から視聴覚ホールの使用が許可されましたが、保護者対象の学年進路講演会は、午前と午後の2回に分けて実施するなど制約がありました。

例年10月に行っていた青山祭

（文化祭）は中止。その代わり、9月7日から一週間「AOYAMA WEEK」と銘打って、文化部を中心に日頃の活動の成果を昼休みと放課後を使って発表・展示することとしました。運動部の大会が再開される中、文化部の発表の機会が得られたことはありがたいことでした。

運動部の大会は秋季地区大会から再開されていますが、各競技とも検温・消毒等かなり運営には気を遣って行われています。4月に中止となった応援歌練習は、11月に応援団長・副団長の3人が3年生代表として指導してくれました。受験勉強の忙しい中、時間を作ってくれ、1日3クラスずつ3日間、昼休みに実施し、1年生は応援団の気迫に圧倒されながらもその「本気」に触発され、「本気」になつて「丈夫」を歌う機会を初めて得ました。

1学年のスキー教室は、赤倉からグリーンピア津南に変更して5年目となりますが、今のところ1月に実施の予定です。3密を避けるためにバスの台数を倍にして40人乗りのバス1台に20名乗車とし、宿舎も全館貸切で1部屋の人数を例年より減らすなど配慮をしながら実施に向けて準備を進めています。

12月に行われていたクラス

マッチは中止。3月のアメリカ研修も理数科・普通科とも中止となりました。

2学年の修学旅行は、一度は中止の方向で進みましたが、3月に実施すべく調整を図り、保護者の同意を得ながら実施に向けて準備を進めています。少しずつ日常を取り戻しつつありますが、完全に戻るにはまだ時間がかかりそうです。

（11月13日現在）

吉 沢 利 子
14回S47年
高 橋 雅 視
宮 澤 洋 子
15回S48年
三 宮 敬 三
16回S49年
梅 田 和 恵
小 黒 恒 雄
17回S50年
水 品 と い
18回S51年
渋谷 治 紀
矢 部 恵 三子
19回S52年
勝 島 テル子
中 林 巴 子
20回S53年
天 尾 正 子
喜多村 勇 夫

小 島 英 二
嶋 田 博
清 野 喜美男
21回S54年
清 野 義 昭
22回S55年
佐々木 浩 之
佐 藤 マツイ
高 橋 雪 枝
種 村 昭 久
種 村 恵美子
田 村 和 男
戸 嶋 孝
外 山 トミエ
藤 田 栄 六
藤 田 キミエ
松 原 俊 昭
丸 山 秋 一
向 川 幸 子
山 本 ヤヨイ

23回S56年
太 田 光 雄
24回S57年
高 松 昭 夫
26回S59年
清 田 輝 雄
27回S60年
阿 部 幸 一
安 倍 武 男
石 川 孝 子
岡 田 忠 雄
宮 澤 重与志
28回S61年
長谷川 勇
渡 辺 久 子
29回S62年
陽 田 ナツ子
30回S63年
長 濱 隆 道

31回H1年
金 子 よ う
菊 地 正 明
関 テル子
滝 澤 公 晴
宮 崎 圭 央
32回H2年
神 田 光 子
菊 地 光 子
武 正 志
山 賀 利 夫
33回H3年
駒 沢 聡
津 端 キ ヨ
丸 田 賢 一
渡 辺 作 司
34回H4年
安 達 惇 子
今 井 純 子
斎 藤 正 吾

森 岡 一 雄
米 山 賢 治
35回H5年
小 林 直 樹
福 田 知恵子
36回H6年
椎 谷 郁 子
37回H7年
神 林 早 苗
笹 川 薫
38回H8年
成 田 二 郎
古 瀬 勝 人
39回H9年
小 林 弘 子
樋 口 節 子
吉 野 一 男
40回H10年
曾 我 昭 仁
永 原 朋

星 恒 市
42回H12年
畔 柳 圭
石 田 美砂子
金 野 真 紅
中 島 和 也
永 田 裕 子
43回H13年
鶴 巻 新太郎

44回H14年
石 原 マサ子
近 雄 介
45回H15年
大 杉 貴美枝
46回H16年
大 崎 シズ
小 柳 トミエ
中 村 優 美

47回H17年
小 森 雅 且

会報へ寄稿される方へ

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしく願います。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日連絡頂ければ、事務局で、同窓会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく願います。



「青山同窓会」は、同窓会報に掲載していただく方へお願いいたします。

宮腰重三郎 山際義博 山田規夫 米山泰明 若林修 渡辺昭夫 渡辺英美子 渡邊智子 渡邊昇次 87回S54年 青柳正俊 荒川一成 五十嵐昌子 伊藤聡量 伊藤智一 井上博一 今藤聡利 遠森克誠 大萩村彦 奥山益義 勝山真理子 加藤美佐子 駒藤光雄 齋藤忠明 清水剛 須田純子 Saltzgeber 高橋直樹 高橋文明 田崎新規 土屋真亮 長井秀彦 長場均 菲沢淳 長谷部浩志 服部佳子 平林達広 藤本健介 本多剛 本間浩徳 本間由美子 松田幸治 松本俊輔 宮田佳則 宮本伸吾 八百板秀人 山岸毅 山崎浩吉 山田治之 吉田雅浩 若山寛 渡辺政城 88回S55年 五十嵐修一 池田全之 今井信一郎 江波恒夫 長田裕 君伸一郎	木村裕毅 草間博子 小竹聡哉 小林久子 小山林佳子 齋藤要一 渋谷栄一 白井村 種井章 玉井郁之 常木輔 遠山康雄 戸松信義 中村充 南場弘人 長谷川岳 林澤俊 古間候 本間茂 吉田巖 渡辺徳昭 渡邊治夫 89回S56年 相場恵美子 飯田晴美 石栗健一 市原綾子 伊藤孝憲 今井あかね 岩野尚子 岡由美子 神林正浩 倉田裕一 栗間聡 佐野哲郎 田村雅彦 継田雅美 栃原真与子 遁所直樹 中山望 灰野正宏 長谷川雄一 ハドリ一 星井利樹 山上浩志 山田敏昭 渡邊克彦 90回S57年 雨夜喜美子 五百川浩 池元太郎 石見鉄夫 岩谷淳 加藤公則 神田武裕 清野良宏 儀同政弘 齋藤俊子 齋藤浩子 齋藤結花 齋藤木信 関根浩	関根康弘 高野裕一 高橋美和 田邊文子 塚田裕亨 土屋俊樹 富山栄子 中村泰史 樋口正洋 本間信介 前川靖 宮北貴和子 宮腰恭子 村上肇 村上竜助 渡辺信子 荒若信裕 五百川周子 市川健二 市川充 上野伸一郎 長田慎之 梶林裕之 小林寛志 後藤弥生 佐井豊 寺沢雅行 野沢涼子 張替和子 本間正隆 松永恵 横堀真弓 渡辺輝浩 渡部美紀 92回S59年 上野洋子 遠藤亨 大野潮子 小野島あゆみ 金井利郎 河内康志 菊池芳裕 北尾彰朗 木村彰 小林玲路 小見毅 近藤善龍 笹崎幹 清野美保 中島貴子 畑野晋一 藤嶋尚美 前田光俊 93回S60年 五十嵐涉 行形和滋 石山友英 井東昌樹 内坪琢子 小沢謙一	金子真奈美 工藤哲洋 齋藤義之 佐藤昌子 橋詰政之 佐伯千佐 水野綾子 森克也 94回S61年 阿部素子 今井卓 加島倫子 小林大介 小櫻井麻利子 佐藤孝幸 山後美鈴 畑野裕之 柳本和貴 遊佐浩子 渡辺康明 95回S62年 浅岡俊宏 浅妻信 有田司 池田里実 上杉知之 関川茂樹 武直子 田村要介 坂内佳子 町田一越 96回S63年 石賀洋介 江口直 鈴木周 中島正好 橋本薰 浜田恒平 本間拓男 山岸義晃 97回H1年 阿部圭子 今井幸 齋藤信義 白川裕章 関博司 名塚武史 治田千絵 堀越康裕 矢部正浩 渡部公正 渡邊信幸 98回H2年 鈴木広樹 高橋信太 敦井一友 富岡裕嗣 渡邊隆興 99回H3年 稲又晋矢 遠藤剛史 加藤裕美子	鈴木信行 町田清彰 水澤泉 100回H4年 安藤栄吾 門田美保子 木ノ下智弘 小林一大 高橋克郎 丹羽恵子 沼宏一郎 吉原貴之 若槻良宏 101回H5年 荒井康弘 伊藤静香 今井敦子 白田輝昌 打越輝江 宇和川淑 小川和恵 上村顕也 周藤賢一 鈴木由貴子 津嶋知美 西脇友哉 長谷川隆 圓山敦史 山口久美子 和賀諭 102回H6年 上原洋明 大滝春樹 佐藤邦栄 高橋謙介 長谷川聡 松澤陽子 宮崎立子 103回H7年 阿部司 小林聡 小林義雄 佐川桃子 中前千佳 西脇文敬 伏見千尋 若林健一 鷺尾英一郎 104回H8年 齋藤文比古 篠倉千恵 谷川永一郎 105回H9年 磯野寿育 田中健一 成澤良 106回H10年 齋藤健太郎 107回H11年 阿部剛 関裕子 廣瀬雄一	真柄望 真柄洋平 室岡啓史 茂木崇治 渡辺誉志 108回H12年 井上勉 上野精一郎 鈴木一義 小見まいこ 109回H13年 坂上悠太 山際章 110回H14年 石崎徹 神田優太 酒井優理子 富田基史 由比克憲 吉田理矢子 111回H15年 齋藤真理 中村峻 堀あい 横井大樹 112回H16年 佐藤朋弥 野々村頼子 吉田丈夫 113回H17年 大塚智望 川村望美 関本智美 長谷川創 原太一 真壁枝里 松岡功太郎 渡邊綾子 渡辺真光 114回H18年 萩莊珠美 加藤慧子 115回H19年 北見直子 小山貴之 坂上哲子 長谷川宝史 林康貴 116回H20年 浅川千恵 久須美智子 117回H21年 今成悠理子 大塚拓 萩根沢真帆子 118回H22年 会田俊貴 高野真行 千代透 宮腰力 119回H23年 木村亮太 久須美裕子	島垣朔歩 関谷祐香 120回H24年 高橋杏奈 手塚朱映 中澤佑介 水戸部慶彦 渡邊公則 121回H25年 相澤有香 柄澤秀親 齋藤愛も 佐藤もも 島垣俊理 田中博 早川晶太 山縣香奈 余湖未笛 122回H26年 張替若菜 123回H27年 小出拓郎 124回H28年 相澤知里 酒井勇貴 佐藤なな 田中爽太 土佐聡馬 星裕菜 125回H29年 大野幹典 島垣碧伊 高橋健弘 渡邊崇弘 126回H30年 伊藤伸悟 岩谷奈央子 内田誠 梅沢賢太郎 小川紗季 小林史 酒井健 笹川航太 白井大翔 高橋良輔 田邊裕紀子 戸根綾香 本間奈穂 丸田裕花 柳晴彦 127回H31年 伊藤和花 岩渕夏海 小野湜太 木村晶彦 塩浦拓弥 高根沢佑海 松永幸哉 渡邊茉衣 渡邊眞子 128回R2年 大野悠樹 加藤一絵	川村将弘 草野真理 小林泰淳 齊藤湜太 坂井遥 須栗久善 高澤遼 伴内勇太郎 諸我菜摘 山田諒太郎 八幡直希 渡邊早紀 通信制 2回S35年 桜井修 4回S37年 大谷孝二 近藤一弥 5回S38年 喜多輝美 星野リエ 6回S39年 高橋富榮 本保銀一 山川春雄 養田太一郎 7回S40年 片原裕子 高橋茂子 外山悦子 8回S41年 金田静江 小林勝代 間島キソ子 松縄清 9回S42年 橘栄子 田巻ミネ 角田清宣 松澤美知子 10回S43年 吉楽政子 木ノ下健次 佐藤イチ子 佐藤達夫 11回S44年 小林幸子 牧野榮策 山田隆久 12回S45年 阿部勇太郎 岡村清 小野塚操 小林京子 斉藤平三郎 田辺辰次 田村幸栄 中屋春美 吉野久美子 13回S46年 中山雅之 八木清宣
--	--	--	---	---	---	--	---

E-mail niiqata_aoyama@yahoo.co.jp

小野塚 眞 一 笠井 隆雄 片桐 利都代子 解近 藤 穂 昭 齋 藤 敏 郎 佐野 重 雄 佐鈴 厚 人 関野 弘 賢 関谷 清 和 高崎 敬 二 高橋 光 二 田岡 示 朗 中野 和 理 中原 眞 博 長谷川 慶一郎 藤田 憲 雅 本間 雅 英 皆川 敬 一 南森 崎 俊 山崎 下 彦 74回S41年 藍沢 幹 人 相場 哲 夫 相場 文 夫 青海 潔 一 池原 法 子 石本 陽 潤 和泉 幸 司 伊藤 宏 雄 伊藤 伸 涉 稲井 上 祥 井田 石 憲 薄大 森 健 大岡 村 俊 小原 悦 正 風間 島 正 賀谷 上 耕 川崎 順 昭 河原 一 彦 木下 眞 由美 木村 敬 雄 倉桑 原 三 解良 池 哲 小出 信 治 古賀 良 生 小竹 孝 之	笹藤 久男 佐藤 成昭 佐藤 俊栄 志田 信秋 鈴木 常弘 関木 勝紀 関川 芳造 高木 憲一郎 高橋 一 頭 高橋 信 保 高橋 秀 郎 高橋 典 憲 高橋 秀 久 堤中 秀 明 戸枝 芳 夫 富樫 孝 一 富澤 慶 之 中野 明 彦 西脇 雄 一 沼田 清 明 波多 場 口 豊 榎神 俊 彦 広野 光 子 福田 善 規 藤田 文 子 古川 兵 衛 本間 邦 宏 松田 博 人 松宮 嶋 良 村山 澤 績 森柳 紘 三 吉川 誠 之 若林 弘 美 渡柳 豊 恵 青安 大 秀 阿部 恒 久 阿蘭 順 子 安藤 裕 司 五十嵐 正 茂 石川 政 夫 石澤 政 彰 石田 正 利 伊藤 隆 夫 伊藤 哲 義 岩上 茂 恒 上原 井 勇 薄江 芳 春	大井 裕子 塚惠 敏 子 大野 道 子 大野 哲 文 岡原 政 己 小柳 克 夫 笠井 忠 博 川上 正 滋 神田 順 一 北村 慈 行 小泉 公 平 小島 富 美 駒村 利 晴 小藤 あき子 近藤 信 義 斎藤 昭 雄 坂井 啓 二 坂元 正 広 坂々木 珠 夫 佐藤 邦 雄 佐野 幹 子 篠田 昭 一 洪谷 伸 元 白井 玉 十 白鳥 広 三 鈴木 正 夫 高橋 清 一 高橋 正 明 高橋 美 樹 多賀 美 代 田中 壮 太郎 田辺 英 志 田邊 静 幸 谷澤 悦 隆 谷井 正 光 玉木 正 一 富山 修 一 永井 博 夫 永爪 博 昭 橋部 俊 道 馬ケ谷 正 均 廣井 建 一 藤井 春 惠 藤田 治 普 藤縄 利 勝 星野 雅 博 堀本 間 均	本間 淑子 松村 富 純 三富 川 純 皆宮 都 卓 百山 上 英 山田 根 隆 山結 城 孝 吉渡 辺 研 渡邊 秀 二 渡邊 勝 斗 渡邊 令 子 渡部 一 俊 渡部 信 子 76回S43年 相沢 初 美 青山 耕 一 明村 澄 雄 安達 直 修 天野 秀 二 荒川 嵐 博 五十嵐 徹 敏 梅田 正 佐 大井 戸 紀 大橋 誠 五 大山 哲 司 尾張 明 美 恩田 雅 和 加澤 正 樹 梶井 直 文 加藤 盛 一 金子 義 伸 吉川 洋 志 桐生 和 男 櫛谷 さ 子 小藤 修 二 近藤 邦 治 斎藤 正 行 佐藤 悠 廣 菅原 正 明 鈴木 茂 夫 鈴木 隆 博 鈴木 正 博 高倉 ま 子 竹内 誠 司 竹内 英 正 武田 代 良 田代 橋 定 棚原 ま ゆ 太田 卷 俊 田宮 洋 一	田村 俊作 戸枝 哲 郎 倉倉 幸 一 中井 三 喜 長北 彦 学 長澤 菊 男 名畑 哲 雄 西沢 芳 樹 福田 賢 一 星野 洋 子 細本 まゆみ 三浦 秀 一 水間 輪 泰 村山 ひろみ 村山 裕 一 安田 充 年 山田 俊 郎 湯本 雅 恵 鷺尾 栄 作 渡辺 力 夫 渡辺 春 夫 渡辺 雅 夫 渡辺 雅 夫 77回S44年 赤坂 長 右 安達 文 夫 阿部 悦 雄 天尾 雅 実 荒川 恭 延 安藤 鋭 一 石黒 富 士 猪股 律 子 遠藤 修 司 大塚 忠 雄 岡本 道 生 風間 山 俊 川崎 島 了 キーン 誠 己 北村 哲 郎 木村 廉 平 木工 保 重 久保 重 男 栗山 和 広 黒桑 彰 子 小原 林 敬 小斎 藤 明 斎藤 厚 満 斎藤 繁 夫 佐藤 茂 茂	佐藤 秀一 佐藤 春 英 関根 正 恒 瀬野 恒 一 曾井 孝 治 高野 康 雅 高橋 悦 文 田中 悦 子 田邊 重 二 津野 隆 夫 富井 正 博 永井 健 司 永井 康 男 西達 英 之 西澤 裕 子 野村 勝 廣 萩野 一 郎 長谷川 実 明 長谷川 節 昭 波田野 克 己 波田野 正 博 藤原 久 澄 本間 義 史 松崎 義 行 丸山 純 一 三井 敏 明 水野 義 明 宮田 敏 子 武崎 恒 裕 矢山 和 裕 山田 恒 裕 大和 裕 子 78回S45年 相沢 裕 吉 相田 浩 輔 青木 孝 一 五十嵐 祐 司 板井 一 彦 伊東 眞 知 今井 高 二 岩城 耕 夫 岩瀬 藤 寿 遠坂 秀 男 大田 秀 樹 岡崎 美 津 小加 藤 俊 金沢 泰 子	金木 裕夫 木村 和 恭 久世 隆 克 熊谷 木 敏 熊倉 井 龍 倉田 泉 隆 小坂 林 直 小森 林 雅 志藤 藤 庫 篠田 敏 子 清水 幸 榮 鈴木 裕 二 鈴木 幸 尚 須根 千 洋 曾高 橋 大 高田 崎 次 旅川 谷 厚 寺尾 英 明 長谷川 まこ 福原 博 志 細本 靖 博 水野 秀 亨 向井 美 夜 村田 光 男 矢沢 公 一 山崎 泰 裕 吉澤 哲 彦 吉田 弓 子 若脇 川 弥 脇渡 美 映 79回S46年 間田 辰 雄 会山 立 人 青浅 井 敬 一 阿荒 木 恒 毅 五十嵐 康 智 石津 井 裕 伊藤 股 裕 猪今 井 誠 植木 秀 任	内山 修郎 江花 和 治 大野 俊 夫 岡崎 均 治 岡田 章 治 小野 秀 雄 梶島 秀 夫 片岡 道 夫 勝山 照 昇 勝河 正 子 川合 千 美 川合 由 子 河野 雅 一 北原 宏 子 久保 愛 子 小泉 伸 之 小飯塚 稔 宏 古寺 尚 丹 後藤 秀 広 斎藤 井 明 坂井 川 富 笹木 隆 輔 佐々木 藤 和 佐藤 晃 一 佐藤 俊 夫 佐藤 玲 子 三膳 膳 義 三膳 膳 義 洪谷 司 義 庄井 英 隆 白井 行 雄 杉山 順 爾 関戸 孝 和 瀬竹 田 篤 武田 邦 彦 田阪 憲 昭 田中 俊 隆 田玉 井 美 田卷 清 文 戸枝 枝 進 豊島 宗 厚 内藤 方 正 西野 村 常 長谷川 宏 昭 長谷川 林 大 藤井 卷 三 藤保 本 則 前田 和 夫
---	--	--	---	---	---	---	---

五十嵐 池 隆 石 黒 石 田 伊 藤 岩 崎 岩 野 植 木 大 橋 大 堀 岡 村 小 栗 笠 原 風 間 川 合 神 林 神 林 北 村 木 滑 小 林 小 湊 近 藤 佐 藤 佐 藤 三 林 三 水 清 井 白 木 鈴 本 関 本 滝 澤 田 辺 玉 木 中 野 中 谷 難 波 二 木 根 津 野 崎 波 多 樋 口 廣 瀬 伏 見 藤 井 本 田 本 間 本 間 松 木 水 野 宮 川 村 山 山 本 吉 井 渡 辺	徹 史 元 郎 三 郎 不 二 一 郎 昭 彦 修 一 隆 夫 嘉 雄 政 成 美 禰 英 次 純 夫 恒 剛 孝 一 茂 繁 昭 弘 勝 喜 輝 夫 美 奈 正 夫 三 雄 達 昭 康 郎 一 美 義 泰 平 央 行 美 陸 英 嗣 子 也 青 紘 彦 忠 男 英 智 美 子 左 敏 忠 和 雅 一 寿 親 和 士 正 宣	小 木 乙 加 加 金 上 神 小 泉 小 出 小 林 小 林 近 里 鈴 鈴 鈴 鈴 関 高 高 田 富 中 二 野 乘 橋 廣 福 福 藤 水 三 宮 村 八 八 矢 矢 山 山 横 横 吉 田 若 渡 渡 辺 渡 辺	亮 順 正 孝 靖 幸 義 範 征 國 正 秀 啓 裕 嘉 宏 和 興 木 滋 敏 敬 卯 喜 元 俊 藤 靖 雅 尋 憲 利 忠 津 健 昌 一 健 善 直 信 稔 功 門	一 郎 次 子 夫 信 子 輝 男 俊 二 志 子 三 一 彦 春 幸 弥 隆 雄 子 喜 男 吉 枝 太 郎 彦 行 道 梁 隆 明 利 紀 治 子 彦 二 純 喬 則 子 信 稔 功 門	岡 小 小 川 小 村 小 野 小 片 加 川 川 崎 木 村 小 林 小 藤 佐 川 塩 原 清 水 白 井 菅 沼 杉 根 関 下 瀬 野 高 高 高 滝 田 中 寺 井 中 野 西 田 濱 原 一 柳 廣 瀬 星 川 堀 本 間 口 真 島 松 川 松 島 三 堀 村 田 保 田 山 際 吉 田 渡 辺 渡 部 渡 部	功 工 トモ 宏 男 紀 勝 忠 一 弘 襄 昌 彦 美 智 晋 一 久 美 八 重 満 伍 節 登 重 久 一 三 一 郎 仁 夫 元 収 宏 一 仁 章 達 郎 敬 肇 弘 彦 允 楊 寛 郎 一 吾 哲 之 助 二 浩 実 勲 肇 郎 一 脩 透 康 康	加 上 上 草 小 近 今 齋 齋 佐 佐 鈴 関 関 関 関 関 野 高 竹 田 田 田 池 中 村 中 村 長 沼 西 原 西 山 畑 福 藤 藤 堀 松 丸 山 水 上 森 若 渡 邊	達 敦 嶺 専 義 公 重 正 藤 公 佐 喜 鈴 隆 関 利 関 徹 野 紀 見 肇 石 宣 中 光 中 憲 田 主 村 村 沼 秀 原 佑 藤 司 良 昌 田 内 伸 弘 耕 一 浩 昌 泰 彦	雄 子 子 佐 吉 雄 和 信 果 薰 子 則 也 二 男 雄 敏 潔 肇 男 弥 稔 夫 稔 正 夫 子 幸 徹 夫 勉 子 彦 実 孝 子 弘 弘 二 弘 彦 彦	黒 井 小 幸 小 島 小 林 後 斎 斎 斎 坂 々 佐 木 塩 沢 清 水 清 水 城 井 菅 沼 鈴 木 曾 我 高 柳 高 木 玉 井 敦 寺 富 垣 永 井 新 田 野 崎 細 本 的 松 水 村 矢 山 横 山 横 山	幸 一 紘 夫 二 勲 宏 雄 介 夫 基 忠 靖 夫 隆 子 夫 浩 夫 一 教 夫 清 雄 一 樹 男 亨 美 子 敏 之 彦 介 紀 夫 義 智 則 彦 一 榮 スミ 夫 嘉	川 北 久 栗 栗 桑 小 小 小 小 近 齋 齋 坂 酒 佐 志 品 菅 鈴 関 高 高 竹 田 田 田 團 鶴 弦 富 中 西 新 花 馬 日 江 平 福 伏 藤 本 本 増 松 右 三 村 村 森 山 山 山 山 山 吉 吉 吉 渡 渡 部 相 田	人 英 雅 秀 勝 淳 和 和 桂 紀 正 束 孝 攻 典 弘 政 政 ゆき た 安 悦 一 正 明 英 治 洋 信 和 勇 黎 重 牧 衛 一 治 惠 子 研 省 朝 保 裕 弥 紘 洋 政 紀 信 滋 恒 憲 安 ツ 士 正 孝 豊 美 那 実 夫	阿 部 五十嵐 伊 今 植 内 大 大 小 小 小 尾 風 柄 川 河 熊 小 小 木 小 小 近 近 佐 菅 関 高 高 高 高 高 田 永 長 西 二 菲 野 長 谷 川 濱 早 福 藤 真 松 松 丸 宮 宮 村 山 柳 山 山 山 山 山 若 渡 渡 辺 青 海 阿 阿 阿 阿	敏 敦 邦 清 巖 博 幸 義 俊 惠 英 紘 直 敏 淑 勝 秀 昌 正 宗 正 健 紘 敏 真 人 義 輝 レ 武 孝 正 周 敏 明 昭 成 要 邦 紀 育 達 山 喜 内 幹 田 耕 田 征 林 二 清 雄 道 寛 部 雅 道 行	弘 子 修 彦 治 根 勝 雄 二 一 彦 美 昭 卓 平 美 哲 正 子 正 一 郎 敏 茂 之 人 利 二 造 生 豊 人 泉 輝 ン 彦 二 樹 壽 守 克 雄 子 彦 一 一 憲 子 男 薰 夫 重 郎 司 忠 雄 寛 子 行 行	荒 石 井 伊 黒 藤 井 今 梅 梅 追 大 野 奥 山 落 田 神 林 賀 井 北 木 黒 林 小 近 齊 佐 篠 原 井 井 井 木 鈴 鈴 立 塚 戸 富 富 内 中 中 中 中 中 西 丹 井 橋 早 樋 古 本 真 牧 松 永 松 丸 南 宮 吉 和 久 井 渡 渡 渡 渡	龍 義 美 智 典 夫 巍 博 守 一 治 寛 作 子 トシ 昭 正 俊 博 夫 之 彪 子 雄 二 弘 一 李 明 彰 興 功 子 德 之 彦 美 孟 夫 恒 政 穎 秀 宏 和 武 均 秀 穂 和 彦 重 弥 敏 敏	二 裕 子 夫 博 守 一 治 寛 作 子 昭 正 俊 博 夫 之 彪 子 雄 二 弘 一 李 明 彰 興 功 子 德 之 彦 美 孟 夫 恒 政 穎 秀 宏 和 武 均 秀 穂 和 彦 重 弥 敏
--	---	--	--	--	---	--	--	---	---	---	--	--	---	--	--	--	--	---	---

令和2年度 青山同窓会会費納入者

(R2.4.1~R3.3.31)

4月より9月末まで納入いただいた方を掲載しております。10月以降に納入された方は次号に掲載いたします。

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非3月までにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

令和3年度会費納入のお願いと振込用紙は、令和3年度総会のご案内と一緒にご郵送いたします。

年会費 1口 1,000 円。できるだけ2口以上でお願いいたします。手数料はご負担をお願いします。

振込先 【郵便振替口座】 00650 - 7 - 4455 青山同窓会
【第四北越銀行】 白山支店 普通口座 5008609 青山同窓会年会費

全日制	小島健一	間島速雄	小林吾郎	集山誠之	中川洋吉	栗田雄三	植村頼音
40回S8年	鈴木俊雄	59回S26年	小林亨	関根理	中島寛	計良伸正	内海公子
鈴木保穂	土田達禪	相川義信	小山功	高浪洋	中村洋二郎	小林俊雄	江口一弥
46回S14年	常木剛	青木久馬	高城英雄	高野恒行	中村義一	白倉至	太田恵子
鍵富春雄	富所壽男	旭祐善	高橋栄明	滝沢哲也	永井梓	杉山弘道	小川伸一郎
47回S15年	前田利雄	新川滋	田村和郎	田中宣	西野勲	相墨直彦	風間治雄
岩谷又武	武藤輝一	飯村康一	戸川正弘	徳田晋也	丹羽仁	相馬研三	風間治雄
斎藤良介	山田甚平	大石正夫	徳田浩一	中村龍雄	長谷川舜治	高木章介	片桐彰子
48回S16年	吉澤有介	岡田久	中田亨	長沼雄峰	長谷川慎郎	高木章介	柄沢茂
佐藤忠一郎	吉原賢二	小柳佳一郎	中村信夫	野俣徹	原滋郎	高橋知義	菊地可寿子
49回S17年	56回S23年	笠井駿	中山弘	長谷川義明	平原康男	高橋昌生	北村市郎
八木敦	赤坂長弥	勝見右	長橋洸	番場道夫	広野耕一	瀧澤正彦	小林脩
51回S19年	網干道雄	河合徳壽	成田禎作	藤井眞人	福田生一	瀧澤正元	近藤恭一
今泉笑顔	飯島昌弥	川上忠男	橋本行雄	本間淑人	藤木茂	竹山友三	近藤恭一
大関雄策	今城信敬	神田悌三	長谷川秀三	向川恒夫	藤山陽三	土田浩平	斉藤俊一
小野芳一	大竹多計二郎	菊地晴彦	濱田達三	村岡公弥	帆刈宏典	土屋信之	坂井清
金巻保男	笠原健一郎	菊池裕夫	早川貞夫	村山国健	真壁伍郎	寺島雅範	佐藤幸治
北村茂雄	加藤勝則	小林圭次	平田大六	村山昌三	村山悦朗	戸井田一	佐藤幸治
杉山久雄	小島直孝	佐藤進	藤本剛	矢田昌三	村山悦朗	中村輝一	佐藤唯司
長谷川直大	斎藤恒治	茂泉喜彦	宗村健吾	青柳正男	茂木敏子	中村道衛	清水良男
真島建次	高橋主孝	品田茂博	山崎賢隆	阿部邦夫	本井孝至	中村道修	鈴木厚生
真野量次	田中孝彦	鈴木誠一	山崎峰平	五十嵐昭恒	吉川達雄	長津栄子	鈴木喬弘
52回S20年	伴昭彦	塚田俊夫	山崎修	石黒恒郎	渡辺千里	二階堂修	高橋俊之助
阿部秋由	藤井泰介	中野文郎	渡邊修	岩渕真雄	渡辺真夫	西村允孝	高橋幸雄
岡崎昭兒	目黒剛二	長島一郎	61回S28年	内山一雄	和田斐夫	野口孝治	田代壮治
齋藤泰五郎	山崎洪二	納谷喜郎	安宅久憲	内山隆之	浅野康一	長谷川潤	立川元彦
佐藤秀夫	若槻馨	西脇諭之	阿部徳治郎	大澤澄男	阿部聡正	平原正男	田村康一
佐藤陽二	笹川孝作	早山康之	安藤友憲	大西浩介	荒井正一郎	保由紀子	千原久弘
澤田義郎	58回S25年	堀滋久	池田元嘉	貝津徳男	五十嵐信一郎	牧野英二	中村輝久
廣川勲	青柳廣士	山田一介	石井淳	貝沼由紀	池治男	真山俊	中山輝也
廣川昭二	赤塚行司	吉川篤吾	伊藤英子	角家孝一	石渡利男	三浦喜代次	成田憲正
三井田彦二	阿部隆豊	吉田陽男	今井晃	神成肅一	市井吉三郎	南満寿子	庭山暢之
山崎利兵衛	安倍豊	渡辺初男	大野恭信	小池健開	市川瑞夫	山田弘力	廣川祐靖
53回S20年	大山芳郎	伊符三喜男	勝沼正郎	小林政弘	伊南純雄	山宮英樹	本間義章
飯田洋一	片桐欣哉	石川紀一郎	木田満洲男	近藤琢也	今井幸雄	山本潤一	森田一朗
白井勇丸	神田善章	石黒忠士	草谷隆幸	近藤隆志	内田宏子	山本暢男	若槻晃一
高松和夫	近寅彦	市川豊一	倉茂周典	斎藤隆	江口律敏	油本奎介	65回S32年
田崎国夫	佐藤弘精	内山真一	小出廣記	佐藤隆	大坂道雄	吉田要一郎	安宅悟朗
玉木將二郎	白井博	岡村嘉志	小杉秀司	杉内哲夫	岡田忠夫	青木昌巳	荒川哲夫
長道雄	高田龍介	小川秋実	小林貞夫	曾我健臣	小畑義博	池浦慶次	安藤宜清
野口俊作	大門啓治	落合夏樹	小林元雄	立川昭夫	梶原義一	石山宏治	飯野勝栄
正木宏	波田野松重	片岡眞尚	齋藤義明	田中毅	北村壽一		
55回S22年	早川哲夫	金塚忍	佐々木繁	田村貫次郎			
青山昭郎	福島惣茂	小石光夫	佐藤敏夫	外山啓			
新井勝龍	藤崎庄二	小島洋吉					
伊藤健二郎							
今湊良敬							
上杉伸二							
金井良司							
金子隆弘							

青山同窓会 臨時総会開催 並びに 新年会中止のお知らせ

青山同窓会会長 敦井榮一

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会について、コロナ禍の状況が収まらず、令和2年11月26日の臨時役員会で中止の決定をいたしました。開催に向けて準備を進めておりましたが、事態の改善が見られない中、多くの方々にお集まりいただき、会食を共にすることは難しいとの判断です。なお、同時に開催を予定しておりました、令和2年度同窓会臨時総会については縮小し開催いたします。

開催要領は下記のとおりです。昨今の情勢を受け、「3密」を避けながらの開催とさせていただく都合上、事前申し込みいただいた方のみご出席が可能とさせていただきます。出席を希望される方は事務局まで出席申し込みの連絡をお願いします。

記

日 時

令和3年2月25日（木） 臨時総会 午後2時

- ・開始時間がいつもと違いますのでご注意ください。
- ・総会後の懇親会はありません。

会 場

ホテルイタリア軒 (TEL 025-224-5111)

お申し込み締め切り

令和3年2月18日（木）必着

お申し込み方法

コロナウイルス感染症対策のため、**卒回、お名前、日中ご連絡可能な電話番号**をメールまたはハガキでお申し込みください。

お願い

- ①コロナウイルス感染症対策のため、お申し込みが**締め切りまでに完了**いただいた方のみ出席可能とさせていただきます。
- ②マスク着用をお願いします。

お申し込み・問い合わせ

青山同窓会事務局 〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

電子メールアドレス niigata_aoyama@yahoo.co.jp

在室時間 月～金曜日（祝日・入学試験期間等を除く）
午前10時30分から午後3時30分まで
（業務内容によっては留守になることもあります。）



令和3年度青山同窓会総会のお知らせ

予 定

新型コロナウイルス感染症の状況等により変更もあり得ますが、現時点では下記の通り予定しています。

日時：令和3年7月9日（金）

会場：ANAクラウンプラザホテル新潟

総 会 午後6時～

懇親会 午後6時30分～